

I P化時代の通信端末に関する研究会（第11回）議事要旨（案）

- 1 日時 平成19年6月19日（火）16時00分～16時50分
- 2 場所 三田共用会議所 3階 第3特別会議室
- 3 出席者
 - (1) 構成員（五十音順、敬称略）

相田 仁（座長）、浅野 睦八（代理 小林 善和）、大島 正司、
國尾 武光（代理 佐藤 直樹）、後藤 幹雄、近藤 弘志、資宗 克行、高橋 伸子、
竹田 義行、土井 美和子（代理 勝部 泰弘）、花澤 隆（代理 浜田 洋）、
平野 晋（座長代理）、藤原 洋（代理 志田 智）、前田 章（代理 真野 宏之）、
松島 裕一（代理 住友 貴広）、三輪 真（代理 柳沼 裕忠）、村上 晃、
山田 敏雄、弓削 哲也、渡辺 文夫
 - (2) 総務省
桜井電気通信事業部長、谷脇料金サービス課長、
高橋情報セキュリティ対策室長、内藤消費者行政課課長補佐、
渡辺電気通信技術システム課長、中村電気通信技術システム課課長補佐
- 4 議題
 - (1) 研究会報告書（案）について
 - (2) その他
- 5 議事要旨

○構成員からの主な発言は以下のとおり

 - ・ 「I P端末」という用語の定義については、「I P化時代の通信端末」を指すということに統一するべきではないか。
 - ・ 「端末」から「〇〇」への「〇〇」については、どのように決めていくのか。
 - ・ 端末に変わる語を募集するとすれば、端末全般を指す総称としての募集となるのか。
 - ・ 消費者保護の在り方の中で、「消費者リテラシー向上」とあるが、リテラシーという語の用法を考慮すると、「ICTリテラシー向上」とするべきではないか。

- ・ 地球環境保護の中で、端末のリサイクルが挙げられているが、IPのネットワークを活用した迅速かつ効果的なリサイクルができるといったような、前向きな記述が望ましいのではないか。

○報告書案については、微修正の上、パブリックコメントに付すこととなった。

以上